学校番号	４１６

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育　男子	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	大修館　現代高等保健体育　改訂版						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本的技能に関しては、反復練習を行い技術の取得を図る。
・習得した技能を活用させ、その種目のおもしろさを理解する。
・自他の運動を観察し、興味・関心を高め、運動の楽しさや達成感を一緒に味わう。

2　学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に着ける。
運動の楽しさや喜びを味わう中で、運動技能を高めていくことができるようにする。体調を整え、体力の維持･向上を図ると同時に、運動を通して仲間と関ることで公正･協力･責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。それとともに、仲間と連携・協働すること重要性を知る。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の基礎的な技能に関心を持ち、意欲的に参加して習得する。集団行動を守り、真剣に取り組む態度を養う。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身につける。	知識を活用し技能向上につなげる。運動を通じて協力することや、事故を未然に防ぐために練習やゲームではルールやマナーを守り、自分自身で考え判断して行動できる、責任のある態度を育てる。	各領域及び運動種目等における技能や攻防の様相、動きの様相と関連に留意し、各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わい、段階的な技能を身につける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	技術の名称や行い方、運動についての知識を高め、運動の特性･ルールを理解し、技能の向上を図り、練習や発表の仕方や、安全の確保の仕方を理解している。
評価方法	受講態度の観察 授業記録	受講態度の観察 授業記録	実技テスト 記録・発表の結果	授業記録 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	集団行動 体つくり運動 武道 陸上競技 器械体操 水泳	・りんくう翔南体操の修得 ・集団行動 ・柔道 受身の習得 ・陸上競技 短距離走 ・器械体操 マット	○	○	○	○	a. 体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことが出来るよう、体力の違いに配慮し、健康・安全を確保して自主的に取り組もうとしている。 b. 動きの基本を身につけ技能の発展や活動に活かせるようにしている。 c. 記録や技能を向上させることにより安全な活動を行なう態度が身についている。 d. 技能の名称や行い方、体力の高め方を理解している	受講態度の観察 タイム レポート 技能観察 技能テスト
		・水泳 クロール	○	○	○	○	a. 水泳の目標と安全に留意いた行動を考え、自主的に取りくもうとしている b. 周囲と協力しながら技術の向上を目指している c. 効率的な泳ぎ方を身につけている d. 生涯にわたり水泳を楽しもうとしている。	
2学期	水泳 陸上競技 器械体操 武道	・水泳 クロール タイム計測 ・陸上競技 短距離走 （50、80m） ・器械体操 マット ・柔道 受身・崩し方	○	○	○	○	a. 各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受けとめること、発表を讃える、ルールやマナーを守ろうとしている b. 自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している c. 合理的な体の使い方を実践している d. 柔道着の着方や礼法、受身の仕方などを理解している	受講態度の観察 タイム レポート 活動ノート 技能観察 技能テスト
3学期	陸上競技 武道	・持久走 3．0km(グランド 10 周)記録測定 ・柔道 寝技、寝技の試合	○	○	○	○	a. 目標を設定し主体的に取り組もうとしている b. 自己の課題に応じて運動の取り組み方を工夫している c. 柔道の受身や崩し方、寝技などの各技が習得できている d. 目標を達成するための取り組み方や練習時間の設定を考えている	受講態度の観察 タイム レポート 活動ノート 技能観察 技能テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。